

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 10 月 25 日 (2007.10.25)

【公開番号】特開 2006-98890 (P2006-98890A)

【公開日】平成 18 年 4 月 13 日 (2006.4.13)

【年通号数】公開・登録公報 2006-015

【出願番号】特願 2004-286517 (P2004-286517)

【国際特許分類】

G 1 0 K 11/162 (2006.01)

B 6 0 N 3/04 (2006.01)

B 6 0 R 13/02 (2006.01)

B 6 0 R 13/08 (2006.01)

D 0 4 H 1/46 (2006.01)

D 0 4 H 1/58 (2006.01)

D 0 4 H 3/00 (2006.01)

D 0 4 H 3/16 (2006.01)

D 0 6 M 17/00 (2006.01)

G 1 0 K 11/16 (2006.01)

【F I】

G 1 0 K 11/16 Z B P A

B 6 0 N 3/04 Z

B 6 0 R 13/02 A

B 6 0 R 13/02 B

B 6 0 R 13/08

D 0 4 H 1/46 Z

D 0 4 H 1/58 B

D 0 4 H 3/00 F

D 0 4 H 3/16 Z A B

D 0 6 M 17/00 H

G 1 0 K 11/16 D

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 9 月 6 日 (2007.9.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ポリ乳酸繊維を主体とする繊維度が $0.5 \sim 10 \text{ d t e x}$ 、目付が $100 \sim 1000 \text{ g / m}^2$ 、厚みが $5 \sim 50 \text{ mm}$ の範囲である不織布 A と、ポリ乳酸繊維を主体とする繊維度が $0.1 \sim 5 \text{ d t e x}$ 、目付が $50 \sim 500 \text{ g / m}^2$ 、通気度が $10 \sim 30 \text{ c c / c m}^2 / \text{ s e c}$ の範囲である不織布 B とを積層し、不織布 B を表側としたことを特徴とする吸音材。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の吸音材が、自動車の天井材、ラインカーペット、オプションマット、エンジン部、トランク部、リヤパーセルまたはドアトリムとして用いられていることを特徴とする自動車内装材。

【請求項 3】

少なくとも次の工程を経てなる吸音材の製造方法。

I．不織布 A の製造工程：ニードルパンチ法またはспанレース法により、ポリ乳酸纖維を主体とする織度が $0.5 \sim 10 \text{ d t e x}$ 、目付が $100 \sim 1000 \text{ g / m}^2$ 、厚みが $5 \sim 50 \text{ mm}$ の範囲である不織布 A を製造する工程

II．不織布 B の製造工程：спанボンド法、メルトブロー法または、спанボンドおよびメルトブロー法により、ポリ乳酸纖維を主体とする織度が $0.1 \sim 5 \text{ d t e x}$ 、目付が $50 \sim 500 \text{ g / m}^2$ 、通気度が $10 \sim 30 \text{ c c / c m}^2 / \text{ s e c}$ の範囲である不織布 B を製造する工程

III．積層工程：上記不織布 A と不織布 B のうちの少なくとも片面に、生分解性の接着剤を塗布し、両不織布 A、B を接合して積層する工程。